

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

明治通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。不忍通り、白山通り、春日通りと歩いた寅次郎、次は明治通り（延長 33 k m）を歩きたいと思いましたが、明治通りはこのシリーズの最終回に残しておきたい気持ちもあり迷いました。でも「コロナ禍の昨今、明日は何があるかわからない。今、やりたいことを先送りして、後で悔やむことはしない」と明治通りの起点に向かいました。

明治通りは港区南麻布二丁目の古川橋交差点を起点として渋谷区、新宿区、豊島区、北区、荒川区、墨田区を経由して終点が江東区夢の島交差点です。延長 33 k m の長い道のりで交差点も多いので 6 回に分けます。東京の博物館めぐりも並行して記載します。

明治通りとは東京都の通称道路名で、道路法の道路名は途中で変わりますが、写真右上のように都道 416 号線でスタートです。

明治通りは 1923 年（大正 13 年）の関東大震災の復興のため 1927 年（昭和 2 年）の都市計画に基づき、東京初の環状道路（環状 5 号線）として整備されました。最初の工事区間が明治神宮の近くを通るので明治通りと名づけられたそうです。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔古川橋交差点〕 港区南麻布二丁目 最寄駅 三田線 白金高輪駅

写真下左は都営地下鉄三田線（以下三田線）の白金高輪駅 4 番出口から出たところを通る麻布通り（都道 415 号線）の経路案内表示です。この先の古川橋交差点を左折すると、明治通り（都道 416 号線）と表示してあります。密を避け、土曜日の朝 6 時 30 分古川橋交差点（写真下右）からスタートです。

明治通りの左上は高速道路目黒線が通り、左下は古川が流れています。古川は首都高速道路の下で暗かったので、のぞきませんでした。
明治通りの右側は南麻布地区で多くの大使館があります。



写真上右は天現寺橋交差点の手前にある経路案内標識です。天現寺橋交差点は港区と渋谷区の区境にあります。

〔天現寺橋交差点〕 渋谷区恵比寿三丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 広尾駅

天現寺橋交差点（写真下左）で外苑西通り（都道 418 号線）と交差します。



左へ行くと目黒方面、右へ行くと西麻布方面です。交通量が多い交差点なので歩道橋を上がり横断します。写真上右は歩道橋の上からの撮影で右方向が明治通りです。

〔渋谷川・古川 清流の復活〕

天現寺橋交差点歩道橋を下りると古川が流れており、「渋谷川・古川 清流の復活」と書かれた石（写真右）があり、隣に説明板がありましたが、フェンスの中で読めません。とりあえず古川（写真下）を撮りました。きれいな流れでした。



明治通りの左側は並行して渋谷川が流れています。庚申橋（渋谷区東三丁目 16）が左に見えたので流れを撮影しました。写真下左は渋谷駅方面から流れて来た渋谷川で庚申橋をくぐり、天現寺橋方面（写真下右）に流れていきます。



その後、明治通り沿いの並木橋で見つけた説明板には「渋谷川・古川は渋谷駅付近から渋谷区と港区の境までの区間を渋谷川といい、港区に入ると古川と名前を変えて、芝公園に沿って流れ、旧芝離宮庭園付近で東京湾に注いでいます。渋谷川は昭和の初め頃までは灌漑の水源として、古川は小舟の舟運に利用されていました。」

都市化の発展や陸上交通の発展とともに利用状況が大きく変化し水質の悪化や水量の減りがみられました。1995 年（平成 7 年）3 月より東京都では清流復活事業を実施、清流の復活を行いました。今の清流は新宿区上落合の落合水再生センターで高度処理した再生水を利用しています」と記載。

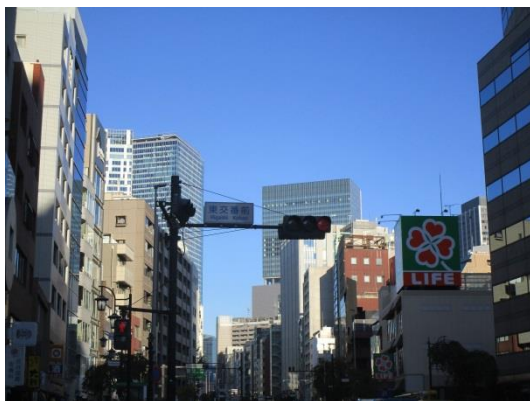
〔渋谷橋交差点〕 渋谷区恵比寿一丁目 最寄駅 JR 恵比寿駅

右側の広尾地区、左側の恵比寿地区を過ぎると渋谷橋交差点（写真下右）で駒沢通り（都道 416 号線）と交差します。左へ行けば中目黒方面、右へ行けば六本木方面です。渋谷橋は左を流れる渋谷川に架かる橋名です。



写真上左は渋谷橋交差点の経路案内標識です。交差する駒沢通りが都道 416 号線と表示されており、明治通りは都道 416 号線から都道 305 号線に変わります。

〔東交番前交差点〕 渋谷区東一丁目 最寄駅 JR 渋谷駅



写真左は東交番前交差点で、右へ行くと國學院大學です。学食と博物館はぜひ見ていただきたい所です。寅さん歩 207 東京の学食めぐり—13、寅さん歩 354 東京の博物館めぐり—41 渋谷区 - 1 をご覧ください。東交番交差点からは前方に変貌を遂げた渋谷駅東口周辺の高層ビル群が見えます。

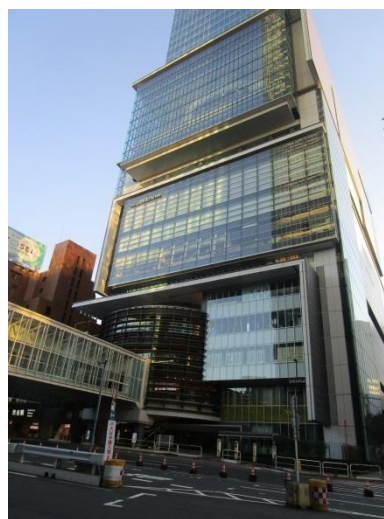
写真上で前方の右側のビルが渋谷ヒカリエ、左側のビルが渋谷ストリームです。

〔渋谷駅東口交差点〕 渋谷区道玄坂一丁目 最寄駅 JR 渋谷駅

渋谷駅東口交差点(写真下右)では三宅坂方面から来た青山通り(国道 246 号線)は玉川通り(国道 246 号線)となり三軒茶屋方面へ向かいます。右へ行く六本木通り(都道 412 号線)はここが起点で六本木方面へ向かいます。明治通り(都道 305 号線)は直進して新宿、池袋方面へ向かいます。

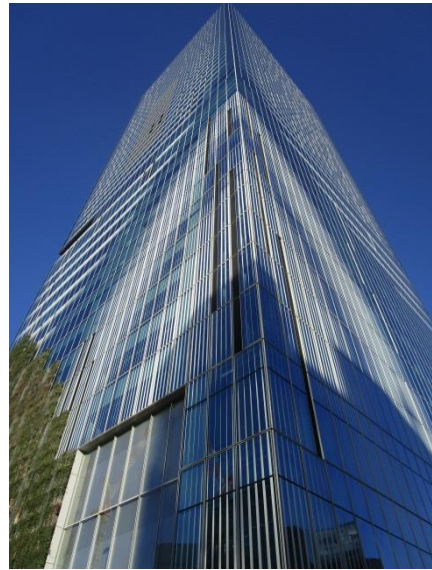


マンモス歩道といわれた渋谷駅東口交差点の歩道橋の上から前方の明治通り方面(写真下左)を撮影しました。



100 年に一度といわれる渋谷駅東口の開発はまだ進行中です。写真上右は渋谷ヒカリエ(東急文化会館跡地に 2012 年 9 月開業)、写真下左は渋谷ストリーム(東急東横線旧ホーム周辺跡に 2018 年 9 月開業)地上 35 階、地下 4 階の複合商業施設です。

渋谷ストリームの名前は近くを流れる渋谷川にちなんで流れや小川を意味する英語のストリームだそうです。



写真上右は渋谷スクランブルスクエア東棟（2019年11月開業）地上47階、地下7階の複合型超高層ビルで渋谷駅に直結しています。現在、渋谷地区で最も高いビルで46階には展望施設渋谷スカイがあります。2027年には中央棟、西棟が完成予定とのことです。写真右は渋谷スクランブルスクエア東棟の1階入口です。



寅次郎、通勤で利用した渋谷駅東口の変貌は渋谷ヒカリエまではついていけましたが、コロナ禍でご無沙汰している間に、さらに大きく変わり、浦島太郎状態です。

今回はここまでとします。次回は渋谷駅東口交差点から新宿区新宿五丁目交差点まで歩きます。

[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在は「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークです。

「一生に一度はお伊勢参り」のうたい文句に誘われて 2005 年 1 月 29 日～2 月 1 日開催の「第 1 回熱田・伊勢 125 キロで初詣ウオーク」に参加して愛知県熱田神宮から三重県伊勢神宮まで歩きましたが、今回は日本橋から東海道五十三次を歩いて四日市日永追分から伊勢街道に入る、二回目の伊勢参りです。2021 年 9 月 27 日、日本橋を出立、2021 年 11 月 28 日、伊勢国（現在の三重県）四日市宿（日本橋から 388 k m）に到着しました。

緊急事態宣言は 2021 年 10 月 1 日から解除されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束にはまだ時間がかかりそうです。例会が再開されましたが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウオークを始めませんか。毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウオークはやりがいがあります。今回の伊勢参りのコースシートは弥次さん、喜多さんの道中ばなし付きです。FWA のHP「YR・四季の道」の「バーチャルウオークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝